

たまポラ

発行：東大和市社会福祉協議会
所在地：東大和市中央3-912-3
電話：042-564-0012 (代表)
FAX：042-564-3680

～しゃきょうのたまちゃんがお伝えする東大和のボランティア情報紙～

がんばれ自分！ みんなの作品展



写真は令和元年に開催された時の様子です。

「がんばれ自分！！みんなの作品展」を開催します。市内福祉施設や団体の日頃の活動や作業の中で制作された作品の展示と、市民相互の交流を目的としています。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク着用・手指消毒等のご協力をよろしくお願いいたします。感染対策を整えて開催しますので、素敵な作品の数々をどうぞご覧ください。皆様にご来場いただきたいと思います。

- 日時：令和3年9月24日（金） 12時～17時
9月25日（土） 10時～16時
- 場所：中央公民館ホール
- 連絡先：東大和市ボランティア会

開催の準備を進めるにあたって、多くの団体・施設にアンケートを行いました。アンケートの結果、参加したい・検討したいとの声が多くありました。私自身としても、色々コロナウイルス感染予防に安全を期す方法を模索しながら開催準備を進めることになりました。ぜひ多くの皆様にご来場いただきたいと思います。

東大和市ボランティア会
会長 尾松 伸正

令和3年度

今年の「夏！体験ボランティア」 ～こんな活動をしました～

●なんがい児童館

新型コロナウイルスの影響で休館を繰り返していましたが、入場制限、消毒、換気等、感染症防止対策を徹底したうえで、子どもたちの見守りや、遊びの付き添い等のボランティアを行いました。職員の方々と学生ボランティアが子どもたちが来るための準備を行いました。積極的に参加されていました。



なんがい児童館での活動の様子

●デイサービスえんどうまめ

感染症対策のため短時間の活動でしたが、高齢者の方々と高校生ボランティアがゲームで楽しく交流！！笑顔が広がりました。



えんどうまめでの活動の様子

今年度の活動も、参加者の皆さんと地域福祉に関する理解を深めることができました。長引くコロナ禍の中、利用者の方に対する施設職員の方々の配慮や工夫に学ぶことも多い体験となりました。

リモートによる「カンボジアの子どもたちへ送る石けんを作ろう！」を開催しました



只今「YouTube」によるオンライン配信で石けん製作中！！

カンボジア語でご挨拶！！
チュムリアップ スオー「はじめまして」



今年の「夏！体験ボランティア 小学生特別メニュー」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月4日（水）、リモートによる「カンボジアの子どもたちへ送る石けんを作ろう！」を開催しました。当日は「Happy Soap Project（ハッピーソーププロジェクト）」の皆さんにオンライン配信のご協力をいただき、40名の小学生の皆さんが在宅でこの石けんづくり



石けん、完成しました！

のボランティア活動を行いました。カンボジアの子どもたちが楽しく手洗いの習慣を身につけられるよう、石けんにおもちゃを入れて作り、参加者全員にボランティア修了証を渡すことができました。石けんづくりを通して、遠いカンボジアを身近に知ることができ、夏休みの思い出のひとつになったのではないのでしょうか？



石けんじょうずにできましたね！
ありがとうございました。



かわいいお手紙もいただきました

シリーズ きらっ!! ボランティア

Vol.21

今回ご紹介するのは、笠原 寧々(かさらはら ねね)さんです。

笠原さんは18歳で、普段は看護学生として学ばれています。明るく元気で、ボランティア活動にとっても熱心な方です。またこの8月から、当センターの運営委員としても、活動してくださっています。

①ボランティアに興味を持ったきっかけ

アルバイトをすることになるととても忙しく時間がないため、何か活動ができないかと思っていたとのこと。そんな時に小説『こんな夜更けにバナナかよー筋ジス・鹿野靖明とボランティアたち』を読み、「このような方のために何かできないかな」「人に触れて活動してみたい」と感じたのがきっかけになりました。また、高校生の時、清掃ボランティアや子ども食堂でのボランティアを行っていたことも東大和で活動するきっかけになったとのこと。その経験が今に繋がりました。



なんがい児童館でのボランティアの様子

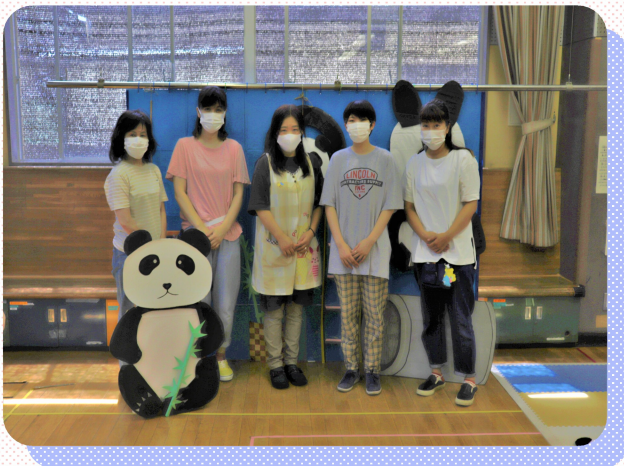
②運営委員としてのこれらについて

今回初めてボランティア運営委員会に参加して、色々なボランティア活動があることを知って、コロナが落ち着いたら、様々な活動に参加してみたいとおっしゃっていました。特に、傾聴ボランティアとSNSでのボランティア活動の発信に運営委員として関わってみたいと考えているそうです。

傾聴ボランティアに参加してみたいと思った理由としては、専門学校で傾聴について学ぶカリキュラムを受講していて、さらに本格的に学び、将来のために生かしていきたいとのことでした。

一方、SNSでボランティア活動の様子を発信したい理由としては、ボランティア活動をもっと多くの方に知っていただきたいという思いがあり、Twitter等を使い周知すること、また、SNSの使い方講座等も活動として行っていきたいという思いもお持ちです。

運営委員の皆さんは、とても優しく、温かい方々ばかりでこれからが楽しみとおっしゃっていました。東大和市で何ができるのかを考えながら、活動ひとつひとつに精一杯取り組んでいきたいと意欲を語っていただきました。



取材を終えて

今回取材を終えて、笠原さんはとても活動に熱心に取り組まれていて、今後についてもビジョンを持たれていると感じました。今後、ボランティア・市民活動センターでも笠原さんに新鮮な意見をいただきながら、若い世代が気軽に参加し、そのスキルを活かせるような、コロナ禍でも行える活動を検討していきたいと思いました。(佐藤瑠菜)



ボランティア先のなんがい児童館のスタッフの皆さんと。(右から2番目が笠原さん)



災害を想定した図上訓練



去る8月27日（金）、北多摩西部ブロック6市のボランティアセンタースタッフや関係機関による訓練が行われました。水害ハザードマップを用いて地図を浸水の程度によって色塗りし、避難所や福祉施設などの位置をマーキング。その上でどのような支援が必要になるのか、私たちのまちにはどのような特徴があるのかなどを話し合いました。

【北多摩西部ブロック6市の水害想定の特徴】

- 多摩川沿いは甚大な被害
- 空堀川、残堀川、野川などの中小河川沿いも大きな被害
- 川がない場所でも浸水する場所が散見される
- 国分寺から国立、立川東部あたりは比較的浸水が少ない

【東大和市の水害想定の特徴】

- 空堀川沿い、南街などを中心に浸水被害
 - その他、市の全域に被害の可能性あり
 - 市民が多く被災した場合、市内からのボランティアの確保が難しくなる
 - 丘陵沿いの傾斜地は土砂災害も心配
- 東大和は、意外にも6市の中では被害範囲が広



（水害ハザードマップを基にした図上ワーク）
※ハザードマップを正確に模写したものではありません。

いことがわかりました。コロナ禍でボランティアの募集範囲を制限しなければならない昨今、市内からの確保が難しい場合は、近隣からの支援が欠かせません。「良き隣人」として、近くの市と情報を共有することの大切さを感じました。

防災にはまず災害を「知る」ことが大切だと実感する訓練でした。今後は東大和市内、より細やかな地域にスポットを当ててこのような訓練ができればいいですね。関心のある方はぜひお問合せください。

2022年度 (公財)東京市町村自治調査会 「広域的市民ネットワーク活動等事業の助成団体募集」

情報提供



「多摩地域を元気にしたい!」「人の役に立ちたい!」そんな市民活動を行っている皆さんのイベントや事業を応援します。市町村の枠を越えて行われる多摩地域の市民交流やまちづくりの推進につながる事業の経費の一部を助成します。助成条件等、詳しくは下記へお問い合わせください。

申請期間：2021年10月18日（月）～12月2日（木）
助成率：助成対象事業費の50%（100万円を超える金額は10%）で120万円以内

○新規団体向け説明会

日時：2021年10月20日（水）18:00～
（要申込み：10月18日まで）

場所：多摩交流センター（府中市寿町）

【問合せ】（公財）東京市町村自治調査会

事業部 企画課 TEL：042-382-7781

※紙面についての問合せは、下記までご連絡ください。

【問い合わせ】

東大和ボランティア・市民活動センター

TEL:042-564-0035 FAX:042-564-3680

新入職員紹介

～皆様初めまして～

令和3年7月1日に東大和市社会福祉協議会に入職しました、佐藤 瑠菜（さとう るな）です。

出身は長野県の下伊那郡喬木村（しもいなぐんたかぎむら）という田舎町で高校生まで生活していました。大学進学を機に上京し、東大和市に住んでおります。

私は、中学生の時から多くの施設でボランティア活動を行ってきました。その中でも東日本大震災の復興支援ボランティアはとても印象に残っています。

現地では報道では分からないことを身近に感じる事ができ、貴重な体験になりました。この経験を私は、「仕事として生かし、地域のために何かしたい」、「この経験を私より若い人達に伝えていきたい」と思いました。

私は社会福祉協議会で今お仕事ができています。コロナウイルスの影響で市民の皆様や、ボランティア活動が行われている皆様には直接お会いできる機会は少なくなっていますが、今後お会いできることをとても楽しみにしております。まだ未熟ではありますがよろしくお願いたします。東大和市のために、私の長所の笑顔と元気さを発揮し、精一杯頑張りたいと思います！よろしくお願いたします。

